

# ハローワーク尾鷲 就職支援業務報告（平成28年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

当所では、障害者の就職件数及び法定雇用率達成企業割合の向上が最重要と考え、特に重点的に進めることとし、未達成事業所への継続的な事業所訪問指導を行いました。その結果、就職件数60件の目標を達成し、管内の障害者法定雇用率も前年の2.04%から2.34%に向上し、また法定雇用率達成企業割合も、前年の68.6%から78.8%に増加しました。

ハローワークの職業相談においては、様々な知識が必要になることから、労働基準監督署や年金事務所の職員を講師に招き労働法や年金に係る研修とともに、来所される求職者の態様に応じた職業相談技法を習得する研修を実施いたしました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

①ハローワークから離れた地域の自治体と、職業紹介関連情報の共有に関する協定を締結し、在住求職者や移住者・Uターン求職者のために役場内に設置された求人検索システムに、当所の求人情報を提供しました。

②正社員就職促進のため、尾鷲所において事業所の作業現場写真を求人票（正社員求人）とともに玄関ホールへ掲示する取組を、平成28年度は熊野所でも開始いたしました。また、他の多くの求人についても、事業所の作業風景を中心とした画像情報を求人票とともに公開しており来所者から好評を得ています。

### （3）今後のサービス・業務改善の取組について

当所は、求職申込者に対する就職率や雇用保険受給者の早期再就職割合は一定の成果を挙げていますが、求職者の減少が続いている中での就職件数という成果を挙げていくには、ハローワークに来所していない求職者への来所勧奨及び潜在的な求職者のハローワークへの誘導が必要となります。

しかしながら、ハローワーク単独でのPRには限界があるため、地方自治体との連携による広報活動の強化を図っていきます。具体的には、市が全世帯に設置しているエリアワンセグを利用した広報や毎月発行される広報誌、市のホームページへの記事掲載等、年間6回の掲載を目標とし、ハローワークのPRと利用者の誘導を図り、就職件数の増加を目指します。

(4) その他業務運営についての分析等

当地域は、高齢化の進展や人口流出に伴う人口減少により、労働力の確保が課題となっています。人材の流出防止には、個々の企業における雇用管理改善の実施を通じた人材の定着が必要になります。

企業における「魅力ある職場づくり」を進め、評価や処遇の改善、人材の育成、ワーク・ライフ・バランスの実現できる環境整備など従業員の視点に立った雇用管理の実施を引き続き周知してまいります。

求職者が希望する求人情報を簡易に作成できるシステムを開発し、現在は三重労働局内の全公共職業安定所で活用が図られています。

当所と熊野出張所及び和歌山労働局新宮所と串本出張所は同一労働市場圏のため、四所による連絡会議を開催し連携を図ったうえで、平成28年度においても四所が協力して熊野市にて就職面接会を開催しました。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	紹介成功率	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	ハローワークの 職業紹介により 正社員に結び付 いたフリーター等 の件数	正社員 就職件数
実績	1,252	1,257	260	97.9%	95.0%	46.6%	19.3%	21.7%	61	110	446
目標	1,347	1,318	317	90.0%	90.0%	46.2%	18.7%	20.7%	60	110	490
目標達成率	93%	95%	82%	—	—	101%	103%	105%	102%	100%	91%
(参考)過去3年度平均	1,387	1,349	316	—	—	—	—	—	—	—	—

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率